広報とうやこ
発行日　令和6年8月9日
通　巻　第221号
■編集・発行　洞爺湖町総務部企画財政課広報統計係　〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地　☎0142-74-3004
FAX0142-74-2121　ホームページアドレス　http://www.town.toyako.hokkaido.jp/　■印刷　トーヤ印刷

Spotlight
スポットライト

洞爺国際交流協会

佐々木　良一 さん

英国と交流の橋を架けて30年
守り続ける海を越えた一期一会

profile
昭和20年1月2日生まれ。成香地区在住。79歳。

北海道から優に8千キロメートル以上の距離を隔てたイギリス。文化も歴史もまるで異なる互いの地を、ボランティア青年の受け入れという形で結んできた洞爺国際交流協会が創立30周年を迎えました。初代会長を務め、現在は5代会長として舵取りを担う佐々木さんは「皆さんの協力のおかげ。これからも英国の青年たちを温かく迎えてほしいです」と話します。

洞爺国際交流協会の発足の契機が訪れたのは1995年。道教育委員会が英国のボランティア青年の受け入れを洞爺村に打診したことがきっかけでした。当時、村議会議員に初当選したばかりの佐々木さんが村役場に出向いた際に相談を受け、その後、村が受け入れを決断。英国との架け橋が実現し、その年の9月に2人の英国青年が訪れました。

佐々木さんが懐かしく思い出すのは、保育所の子どもとの交流です。見慣れない外国人に緊張したのか泣き出す子もいましたが、数日後には英国青年におぶってもらったり、抱っこされて喜ぶ姿がありました。「子どもたちと直接触れ合うことで体験できることを伝えたいと思っていました。小さい頃からこうした体験を積ませることができたのはとてもよかったと思います」と振り返ります。

7月に行われた30周年記念式典には、元ボランティア青年も海外から参加。来れなかった人もオンライン参加し、スクリーン越しに「家族のように温かく接してもらいました」「本当に価値のある経験ができました」と思い出を語って協会員や地域住民との再会を喜びました。

世界に目を向ければ戦争はいまだ途絶えず、国際交流の重要性はますます増しています。佐々木さんは「人と人のつながりが大事。英国との友情を次の世代に伝えていかなくてはならないと強く感じています」とその意義を伝えています。

東奔西走

虻田神社のホタテ風鈴。涼し気な音も風情があってとても良いのですが、子どもたちの願い事が記された短冊が素晴らしかったです。子どもらしい夢やまっすぐな思いが夏の暑さを忘れさせてくれました。(D.Y)

5年ぶりに開催されたレークスポーツ教室の取材に伺いました。子どもたちは楽しそうにカヌーへ乗り込み、湖へ漕ぎだしていきました。また、そんな姿にカメラを構える保護者の方にも笑顔が見られて、とてもほほえましかったです。(Y.A)

町公式LINEを友だち追加！

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます！